

出雲市学校施設整備・長寿命化計画（案）の策定について

本市では、平成 24 年度に「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」を策定し、耐震化事業を最優先事項として学校施設整備に取り組み、令和 6 年度には耐震化事業は完了しました。この計画が令和 8 年度をもって終期を迎えることから、今後は、施設の長寿命化や教育環境の質的向上等、現有ストックの有効活用を図っていく必要があるため、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に代わる計画として「出雲市学校施設整備・長寿命化計画」を策定します。

1. 計画の名称 出雲市学校施設整備・長寿命化計画

2. 計画期間 令和 9 年度 (2027) から令和 18 年度 (2036) までの 10 年間

3. 対象施設

小学校	29 施設	68 施設
中学校	14 施設	
幼稚園	25 施設	

※部室や物置等の小規模な附属建物や、県有施設である神戸川小学校若松分校及び河南中学校若松分校を除く。

4. 計画内容 (1) 本編
(2) 概要版5. 計画の構成 第 1 章 計画の基本事項
第 2 章 学校施設の実態
第 3 章 施設整備方針
第 4 章 長寿命化改修等の実施計画

6. こどもの意見の施策反映の実施について

市長の学校訪問の際のアンケートに、項目を追加して意見を聞く考えである。

7. 今後のスケジュール（案）

- ◆ 9 月から 12 月 こどもの意見聴取
- ◆ 令和 9 年 3 月 計画策定予定

出雲市学校施設整備・長寿命化計画【概要版】（案）

令和9年(2027) 3月

出雲市教育委員会 教育部 教育施設課

第1章 計画の基本事項

1 計画の背景・目的等

(1) 計画の背景・目的

本市は、学校施設として小学校 29 校、中学校 14 校、幼稚園 25 園を保有しています。その多くは昭和 40 年代から昭和 60 年代にかけて建設したもので、築 40 年以上経過した建物が全体の 4 割以上を占めており、経年劣化による老朽化が進行し改築・改修に多額の費用が必要となっています。

文部科学省では、「インフラ長寿命化計画（行動計画）」により、学校施設等の予防保全型による老朽化対策、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化への取組を推進するよう示しました。

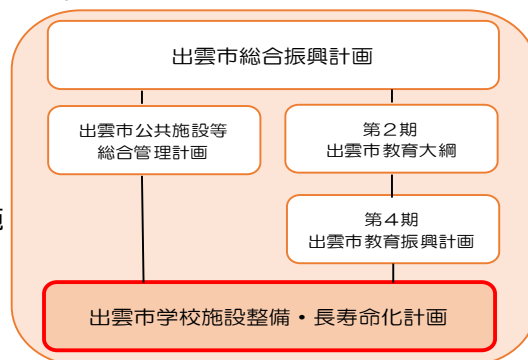
本市においても、平成 28 年 3 月に「出雲市公共施設等総合管理計画」を策定し、施設の効率的・効果的な維持管理と長寿命化を図っています。学校施設については、平成 24 年 3 月に「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」を策定し、耐震化事業を最優先課題として取り組み、令和 6 年度に耐震化が完了し、この計画は令和 8 年度に終期を迎えます。今後は、施設の長寿命化や教育環境の質的向上等、現有ストックの有効活用を図っていく必要があります。

本計画は、適切な時期に対策を行う「予防保全型」の取組を推進し、かつ学校施設の維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や、将来にわたっての財政負担の平準化を目指すとともに、教育環境の質的向上、環境対策等にも取り組むこととし、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に代わる計画として策定します。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「出雲市教育振興計画」を基本方針とし、「出雲市公共施設等総合管理計画」に基づく、学校施設の個別施設計画として位置づけます。

なお、本計画は教育委員会で策定するものであり、個々の事業の実施については、市の財政計画と調整を図っていくものとします。



(3) 計画期間

令和 9 年度(2027)から令和 18 年度(2036)までの 10 年間

ただし、計画期間内であっても「出雲市公共施設等総合管理計画」の見直しが行われた場合や、社会情勢や教育環境の変化等への対応を必要とするときは、本計画も必要に応じて見直すものとします。

2 計画対象施設

本市が保有する学校施設（小学校、中学校、幼稚園）のうち、校舎・園舎・体育館等の建物とします。なお、部室や物置等の小規模な附属建物、県有施設である神戸川小学校若松分校及び河南中学校若松分校は除きます。

区分		施設数	
学校施設	小学校	29 施設	68 施設
	中学校	14 施設	
	幼稚園	25 施設	

令和 8 年 4 月 1 日時点



第2章 学校施設の実態

1 学校施設の目指すべき姿

学校施設の整備にあたっては、次の機能を備えた施設を目指します。

項 目	内 容
安全性の確保	①防犯や安全性に配慮した施設 ②避難所としての防災機能の確保
快適な学習空間	①児童・生徒・園児等が快適に過ごせる環境を確保 ②衛生面・バリアフリーに配慮した施設
環境への適応性	①LED照明等、省エネ性能の高い機器類の導入 ②自然エネルギーの活用
地域の拠点化	①地域住民の利用しやすい施設 ②安全で安心な施設

2 学校を取り巻く環境

平成 24 年と令和 8 年を比較した場合、学校数、在籍者数及び小学校の通常学級数については、人口減少や少子化、再編統合により減少傾向にあります。一方、中学校の通常学級数については、在籍者数は減少傾向にあるものの、1 学級あたりの上限人数が見直されたため同数となっています。

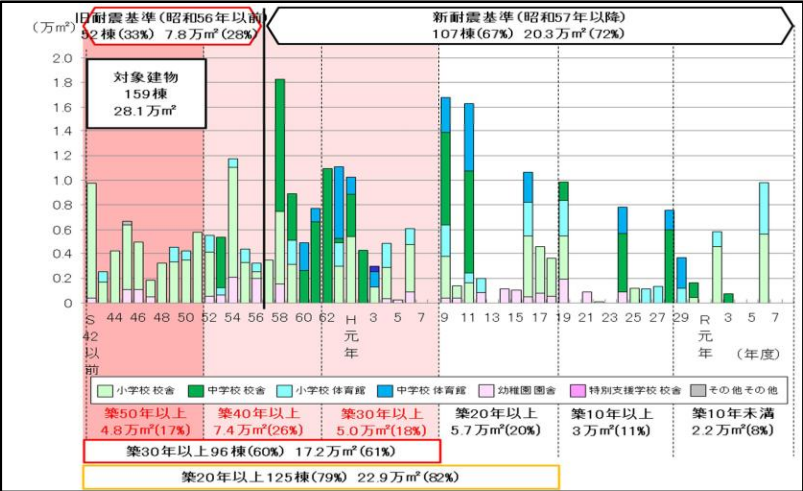
	人口		学校数			在籍者数			通常学級数		
	全人口	14歳以下	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園
平成24年	173,105	24,383	40	15	30	9,882	4,973	1,589	382	142	85
令和8年	171,002	22,379	29	14	25	9,352	4,756	636	347	142	54
増減	▲ 2,103	▲ 2,004	▲ 11	▲ 1	▲ 5	▲ 530	▲ 217	▲ 953	▲ 35	±0	▲ 31

3 学校施設の状況

(1) 学校施設の保有状況

小学校全体の床面積は 153,795 m²、中学校は 106,296 m²、幼稚園は 20,946 m²あり、学校施設全体の床面積は 281,037 m²となっています。

■学校施設経過年数分布表(令和8年4月1日時点) ※小規模な倉庫等を除く



■本市の学校施設は、昭和 58 年前後に多数建築されており、建築後 40 年以上経過したものが全体の 43%、30 年を経過したものを含めると、全体の 60%を超える割合となっています。旧耐震基準である昭和 56 年以前に建築されたものは、全体の 28%ありますが、耐震化は全て完了しています。



(2) 学校施設の老朽化及び教育環境の実態

①老朽化の実態

建物の老朽化については、劣化状況と健全度で評価を行います。建物の劣化状況では、建物の屋根又は外壁が D 判定となっている建物は 11 棟で全体の 7 %であり、そのほとんどは築 40 年以上経過しています。健全度については、50 点未満の建物が 24 棟で全体の 15%となっています。これらの建物については、早期に改修等をする必要があります。

【劣化状況評価基準】

目視による評価	
【屋根・屋上、外壁、内部仕上】	
評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化
劣化 D	早急に対応する必要がある

経過年数による評価	
【電気設備、機器設備】	
評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	41年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

【健全度評価の算定方法】

①部位の評価点		②部位のコスト配分	
	評価点	部位	コスト配分
A	100	1 屋根・屋上	4.2
B	75	2 外壁	14.9
C	40	3 内部仕上	21.3
D	10	4 電気設備	9.0
		5 機械設備	16.6
		計	66

③健全度
総和(部位の評価点×部位のコスト配分)
66

②教育環境の実態

教育環境の実態については下表のとおりであり、安全・安心で快適な学校生活を送るために質的向上を図る必要があります。

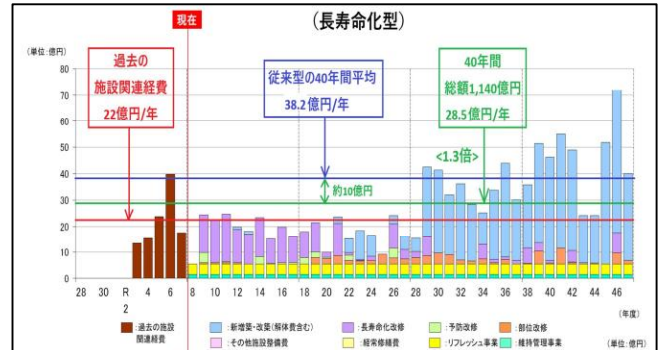
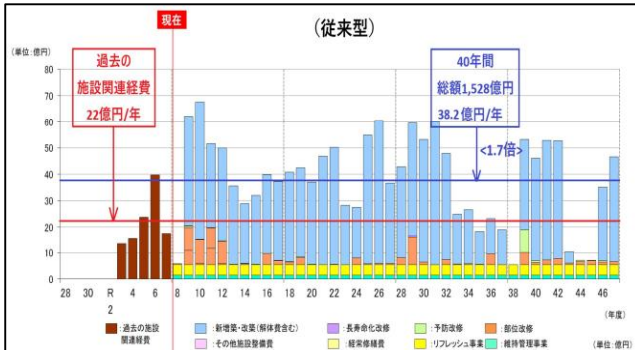
エアコン整備	普通教室と保育室のエアコン設置は完了していますが、特別教室のエアコン設置率は74.4%です。エアコンが設置されている室のうち、10%・140室のエアコンは設置後20年を経過しています。
バリアフリー化	避難所指定の小中学校の体育館のバリアフリースロープの設置率は95.3%、スロープは97.7%、校舎・園舎のバリアフリースロープの設置率は80.6%、スロープは77.6%です。小中学校のエレベーターの設置率は39.5%です。
トイレ洋式化	児童・生徒・園児用トイレの洋式化率は48.2%です。
照明LED化	体育館照明のLED化は小学校9校、中学校2校が完了しています。

(3) 施設関連経費の状況

過去5年間（令和3年度～令和7年度）の学校施設関連経費は、学校再編統合による新築や耐震化事業による改修等があったため、年度ごとにばらつきはありますが、年平均で約22億円を要しています。

(4) 将来の更新コスト

文部科学省の試算ソフトを用いて、従来型の手法と長寿命化型の手法で改修・改築を実施していく場合の40年間のコストを比較したものが次のグラフです。長寿命化型の手法とした場合は、年平均約10億円の削減効果が見込めます。



※従来型のコスト算定条件
鉄筋コンクリート造の建物は、建築後30年で大規模改修、60年で改築を行う。
鉄骨造の建物は、建築後20年で大規模改修、40年で改築を行う。

※長寿命化型のコスト算定条件
鉄筋コンクリート造の建物は、建築後20年と60年で大規模改修、40年で長寿命化改修、80年で改築を行う。
鉄骨造の建物は、建築後20年と50年で大規模改修、35年で長寿命化改修、70年で改築を行う。

第3章 施設整備方針

1 学校施設整備の基本的な方針

基本的な方針	内 容
①「事後保全型」から「予防保全型」への転換	劣化・損傷が軽微な段階から予防的な改修を実施
②安全性・機能性を優先的に確保	安全性・機能性の低下が著しい建物を優先的に改修等を実施
③教育環境の質的向上	エアコン整備・バリアフリー化・トイレ整備等良好な教育環境の整備
④社会変化に応じた教育環境の整備	小中学校の9年間を見通した教育活動を効果的に実践するための整備

2 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

整備水準	内 容
①安全・安心な施設整備	外壁、屋上防水等の老朽改修、築年数が経過し老朽度が著しい建物の改築を実施
②快適な教育環境の整備	熱中症対策のためのエアコン整備、バリアフリー化の実施、清潔で使いやすいトイレ整備
③環境への適応性	ゼロカーボン推進のため、照明LED化の実施や、太陽光発電設備の導入の検討
④学習環境の整備	小中一貫教育推進のための施設整備、教室不足対策のための改修や増築の実施

第4章 長寿命化改修等の実施計画

1 長寿命化改修等の優先度

児童・生徒・園児の安全性や、機能性確保のための老朽改修・改築を最優先とし、各施設の実態等を考慮のうえ実施計画を立てます。合わせて質的向上に係る整備等についても、事業費の平準化を考慮しながら実施していきます。

2 老朽改修等の実施計画

計画期間内における老朽改修等については、施設の劣化状況等を考慮し、次に示す3つの整備手法と判断基準により実施します。老朽改築を要するとされた建物については早期の整備が求められ、老朽改修と判定されたものについては、建築年の古いものや健全度の低いものから優先的に実施する必要があります。

整備手法	判断基準
老朽改築	老朽化が著しく改修することが困難な建物や、老朽化しており学校規模に対して狭隘であるアリーナを有する体育館は、「改築」とする。
老朽改修	劣化状況評価により屋根又は外壁がD判定である建物や、健全度が50点未満の建物は、「改修」とする。
維持保全	上記以外の建物は、「維持保全」とし、継続した日常・法定点検や適切な修繕を行う。

3 良好な教育環境整備の実施計画

(1)質的向上を図る整備		
①エアコン整備	・中学校の特別教室にエアコンを設置し、小学校の特別教室は設置を予定 ・改築を予定している体育館は改築時にエアコンを設置し、それ以外の体育館は、令和15年度までの設置について検討 ・幼稚園の遊戯室は、計画的にエアコンを設置 ・設置後20年を経過したエアコンの更新を計画的に実施	
②バリアフリー化改修	避難所指定されている体育館や園舎は、バリアフリースロープや段差解消のためのスロープを整備し、避難所指定されていない校舎等は、支援が必要な児童・生徒・園児の在籍に合わせて整備	
③トイレ洋式・乾式化	建物の老朽改修に合わせて整備	
④照明器具のLED化	高圧受電している小中学校・幼稚園は、本市の「公共施設照明LED化事業」により整備し、高圧受電していない幼稚園は、計画的に整備	
(2)教室不足対策		児童生徒数の増加により普通教室不足が見込まれる施設は、増築や改修を実施
(3)小中一貫教育の推進のための環境整備		須佐小学校と佐田中学校を統合し、佐田中学校を「義務教育学校」として整備

4 今後10年間の長寿命化改修等の実施計画

整備内容			計画期間										
			R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
老朽改築	長浜小	校舎	北校舎 建築1年目	北校舎 建築2年目	南校舎 建築								
	四絡小	体育館	建築 1年目	建築 2年目									
	北陽小	体育館	造成 1年目	造成 2年目									
				建築	既設体育館 解体								
	平田小	校舎					期間内に計画的に実施予定						
老朽改修	小学校	校舎	塩冶小 (校舎1)、 遙堀小		※ 大津小(校舎1・2)、高松小(校舎1)、北陽小(校舎1)、神西小(校舎1)、灘分小(校舎1・2) 荒木小(校舎1・2)、荘原小(校舎1)、中部小(校舎1・2)								
		体育館		※ 荒木小、荘原小									
	中学校	校舎		※ 浜山中(校舎1・2)、湖陵中									
		体育館		斐川東中	※ 浜山中								
エアコン整備	特別教室 エアコン整備	小学校								10校	10校	9校	
		中学校	6校										
	体育館 エアコン整備	小学校		四絡小	北陽小	令和15年度までの設置について検討							
		中学校											
	遊戯室 エアコン整備	幼稚園	8園	4園	5園	4園							
	既設エアコン更新	小学校	3校	15校				R12までに対象校を選定して実施					
中学校		2校	5校				R12までに対象校を選定して実施						
バリアフリー	トイレ・スロープ改修		遙堀幼	大社幼	以降、避難所指定ではない校舎や園舎は、支援を必要とする児童・生徒・園児が在籍する際に整備								
	エレベーター設置		斐川西中	浜山中	以降、支援を必要とする児童・生徒・園児が在籍する際に整備								
照明LED化	照明LED化	小中学校		公共施設照明LED化事業により整備									
		幼稚園	4園	2園	8園	8園							
教室不足 対策	西野小校舎増築		建築 2年目	各学校の児童生徒数の推移を把握し、教室不足が見込まれる場合は増築や改修を実施									
	大津小校舎改修		改修										
義務教育 学校整備	佐田中学校（義務教育 学校）校舎増築				建築								

※期間内に計画的に実施予定。なお、学校名の記載順は整備順ではなく、実施にあたってはそれぞれの建物の状態により行う。

5 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 劣化状況の把握

本計画を継続的に運用していくためには、学校施設の劣化状況の把握が重要です。日常的・定期的に点検等を実施して適切な維持管理に努めることで、改修計画への反映や、突発的な事故等の未然防止に繋がります。

(2) 推進体制等の整備

本計画を推進するにあたり、施設を所管する教育委員会教育部教育施設課が中心となりマネジメントを行います。全庁的な協議を必要とする場合は、出雲市公共施設等総合管理計画に基づく体制で対応します。

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の劣化状況等を踏まえ、改修等の実施計画を定めたものであり、実施にあたっては、本市の財政状況や事業進捗状況、社会情勢の変化や施設劣化状況等により適宜見直しを図ります。

出雲市学校施設整備・長寿命化計画（案）

令和 9 年(2027) 3 月
出雲市教育委員会

目 次

第1章 計画の基本事項

1 計画の背景・目的等	
(1) 計画の背景.....	4
(2) 計画の目的.....	4
(3) 計画の位置づけ.....	4
(4) 計画期間.....	5
2 計画対象施設.....	5

第2章 学校施設の実態

1 学校施設の目指すべき姿.....	6
2 学校を取り巻く環境	
(1) 人口の推移.....	7
(2) 学校施設の配置状況.....	8
(3) 対象施設一覧.....	10
(4) 学校数等の推移.....	12
3 学校施設の状況	
(1) 学校施設の保有状況.....	14
(2) 学校施設の老朽化等の実態.....	15
(3) 学校施設の教育環境の実態.....	19
(4) 学校施設関連経費の状況.....	20
(5) 将来の更新コスト（従来型）.....	21
(6) 将来の更新コスト（長寿命化型）.....	21
(7) 従来型と長寿命化型のライフサイクルコスト比較.....	22

第3章 施設整備方針

1 学校施設整備の基本的な方針	
(1) 改修等の基本方針.....	24
(2) 目標使用年数の設定.....	24
2 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等	
(1) 改修等の整備水準.....	25
(2) 維持管理の手法.....	25

第4章 長寿命化改修等の実施計画

1 長寿命化改修等の優先度.....	26
2 老朽改修等の実施計画	
(1) 整備手法と優先度.....	26
(2) 老朽改修等の実施計画.....	28
3 良好な教育環境整備の実施計画	
(1) 質的向上を図る整備.....	28

(2) 教室不足対策.....	29
(3) 小中一貫教育の推進のための環境整備.....	29
4 今後10年間の長寿命化改修等の実施計画.....	30
5 長寿命化計画の継続的運用方針	
(1) 劣化状況の把握.....	30
(2) 推進体制等の整備.....	30
(3) フォローアップ.....	30

第1章 計画の基本事項

1 計画の背景・目的等

(1) 計画の背景

本市は、学校施設として小学校29校、中学校14校、幼稚園25園を保有しています。その多くは昭和40年代から昭和60年代にかけて建設したものであり、築40年以上を経過している建物が全体の4割以上を占めています。これらの建物は経年劣化による老朽化が進行しており、多額の改築・改修費用が必要となっています。

そのような状況の中で文部科学省は、平成27年3月に策定した「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を令和3年3月に改訂し、学校施設等の予防保全型による老朽化対策、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化への取組を推進するよう示しました。

本市では、平成28年3月に策定した「出雲市公共施設等総合管理計画」において、公共施設等の保有量、大規模改修、建替及び更新の将来見通し等を分析し、公共施設等の保有量の適正化に向けた取組を推進するとともに、施設の効率的・効果的な維持管理と長寿命化を図っていくこととしています。

また、本市の学校施設については、平成24年3月に「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」を策定し、耐震化事業を最優先課題として取り組み、学校施設の耐震化は令和6年度に完了し、この計画は令和8年度をもって終期を迎えます。今後は、施設の長寿命化や教育環境の質的向上等、現有ストックの有効活用を図っていく必要があります。

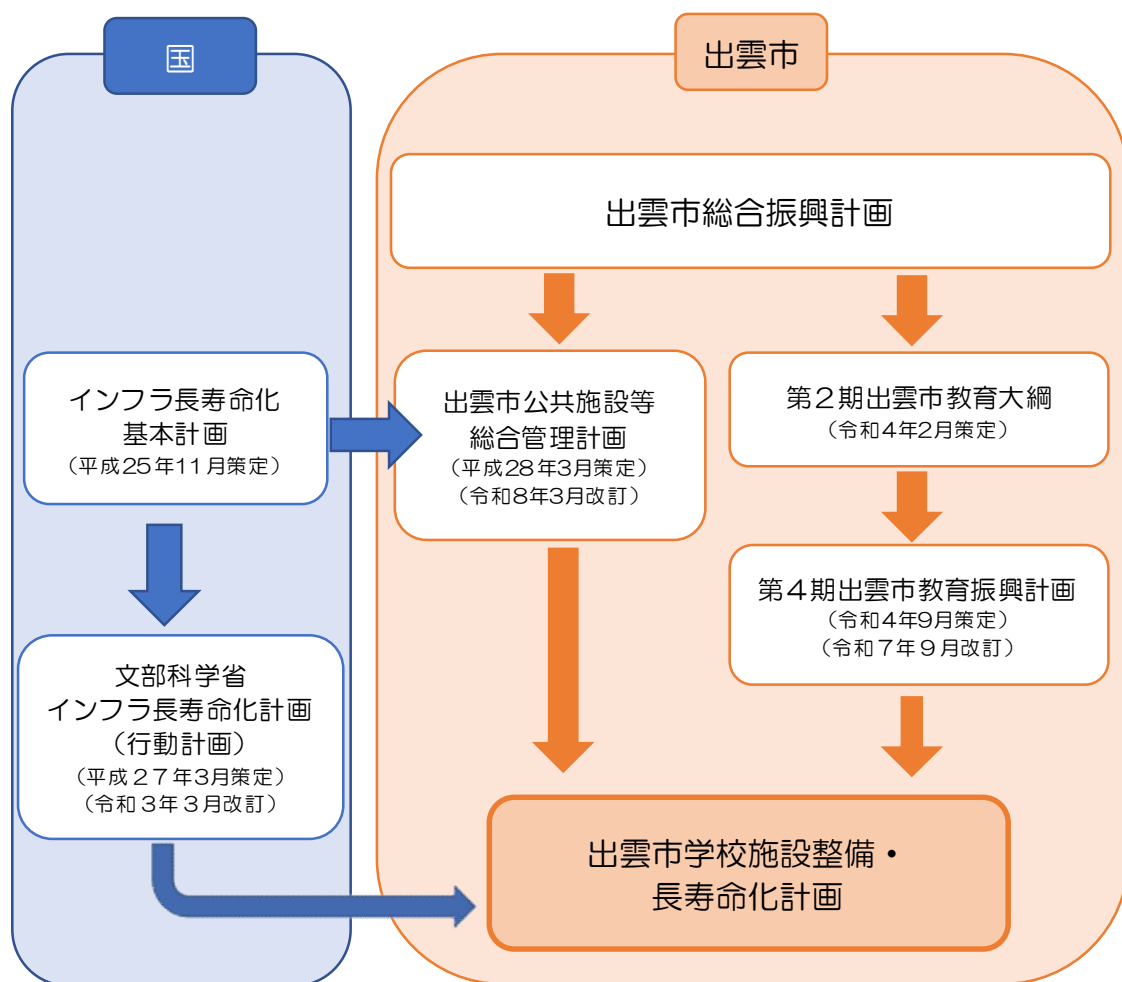
(2) 計画の目的

「出雲市学校施設整備・長寿命化計画」（以下、「本計画」という。）は、学校施設の損傷が著しくなってから対応する「事後保全型」から、適切な時期に対策を行う「予防保全型」へ転換し、コストの縮減や、将来にわたっての財政負担の平準化を目指すことを目的とします。また、老朽化が特に著しく改修になじまない施設や、学校規模に対して狭隘で老朽化が著しい施設については改築を検討します。合わせて教育環境の質的向上や環境対策にも取り組むこととし、「出雲市学校施設整備・耐震化基本計画」に代わる計画として策定します。

(3) 計画の位置づけ

本計画は、「出雲市教育振興計画」を基本方針とし、「出雲市公共施設等総合管理計画」に基づく、学校施設の個別施設計画として位置づけます。なお、本計画は、教育委員会で策定するものであり、個々の事業の実施については、市の財政計画と調整を図っていくものとします。

■計画の位置づけのイメージ



(4) 計画期間

本計画の期間は、令和9年度(2027年度)から令和18年度(2036年度)までの10年間とします。ただし、計画期間内であっても「出雲市公共施設等総合管理計画」の見直しが行われた場合や、社会情勢や教育環境の変化等への対応を必要とするときは、本計画も適宜見直すものとします。

2 計画対象施設

本計画の対象施設は、本市が保有する学校施設(小学校、中学校、幼稚園)のうち、校舎、園舎、体育館等の建物とします。なお、部室や物置等の小規模な附属建物、県有施設である神戸川小学校若松分校及び河南中学校若松分校は除きます。

令和8年(2026)4月1日時点

区分		施設数	
学校施設	小学校	29施設	68施設
	中学校	14施設	
	幼稚園	25施設	

1 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、児童・生徒・園児が日々の学習等のために過ごす場であり、安全・安心で快適な教育環境が求められます。更には、地域住民のスポーツや生涯学習の場として親しまれる地域の拠点であるとともに、災害発生時には避難所となるため、次の機能を備えた施設を目指します。

《1》安全性の確保（防犯・防災対策）

- 児童・生徒・園児が安心して過ごせるよう、防犯や安全性に配慮した施設。
- 自然災害時における被害を最小限にとどめ、地域の防災拠点、災害時の避難所としての役割を担うための施設。

《2》快適な学習空間

- 学習能率の向上に資する快適な学習環境を確保する施設。
- 児童・生徒・園児の健康や衛生面、バリアフリーに配慮した施設。
- 教職員が快適に働ける環境に配慮した施設。

《3》環境への適応性

- 照明のLED化、省エネ性能の高い機器類の導入、自然エネルギーの活用等、環境に配慮した施設。

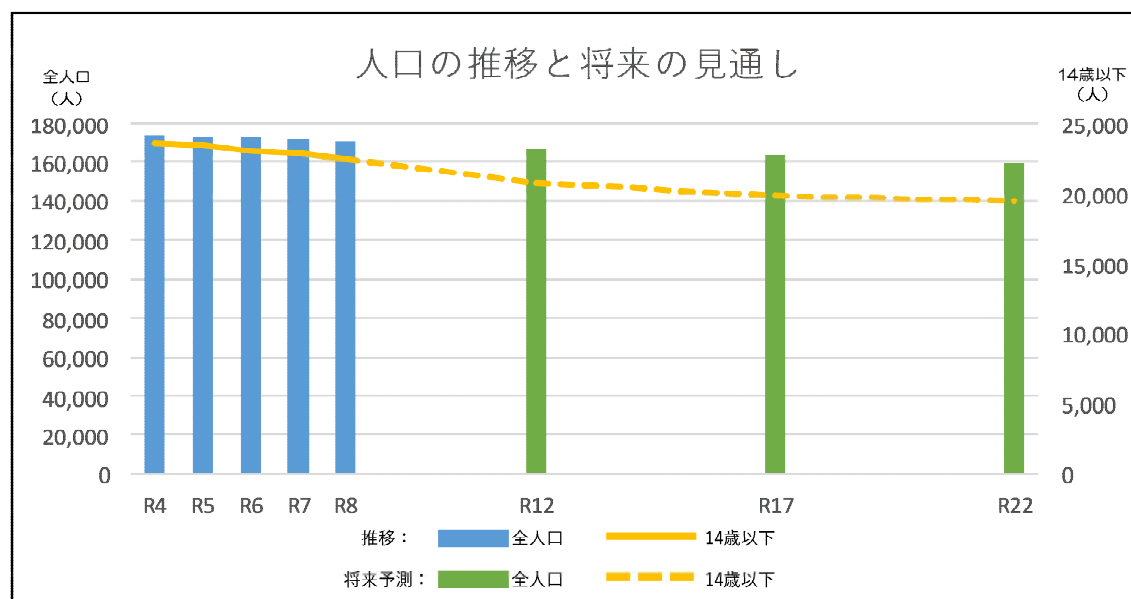
《4》地域の拠点化

- 地域に開かれバリアフリーに配慮した、地域住民の利用しやすい施設。
- 安全で安心な施設。

2 学校を取り巻く環境

(1) 人口の推移

本市の全人口及び14歳以下人口の推移は下表のとおり減少傾向にあり、将来的にもこの傾向が続くものと想定されます。



	R4	R5	R6	R7	R8	R12	R17	R22
全人口	174,308	172,967	172,504	171,729	171,002	166,781	163,280	159,477
14歳以下	23,626	23,371	23,027	22,794	22,379	20,778	19,821	19,444

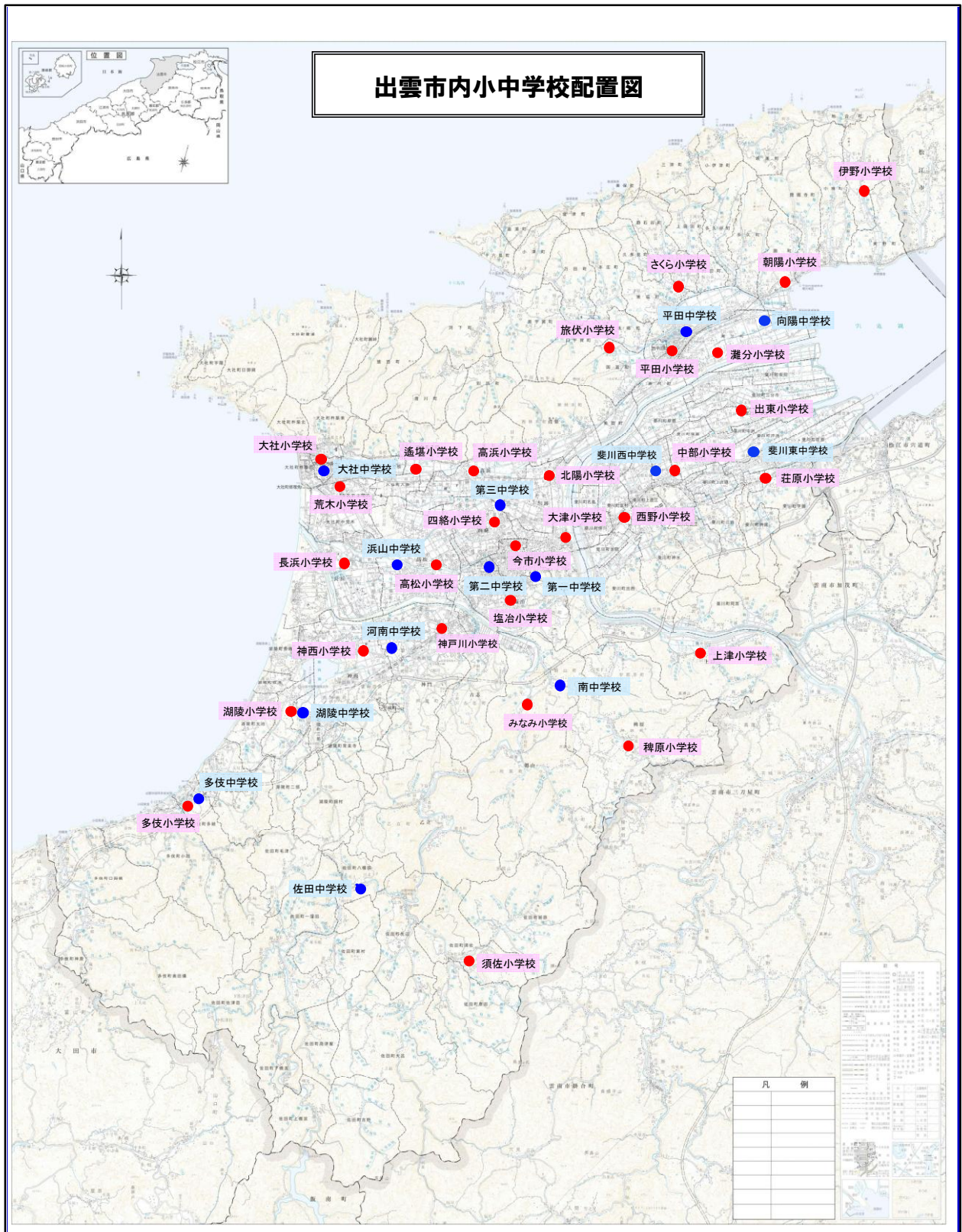
(単位：人)

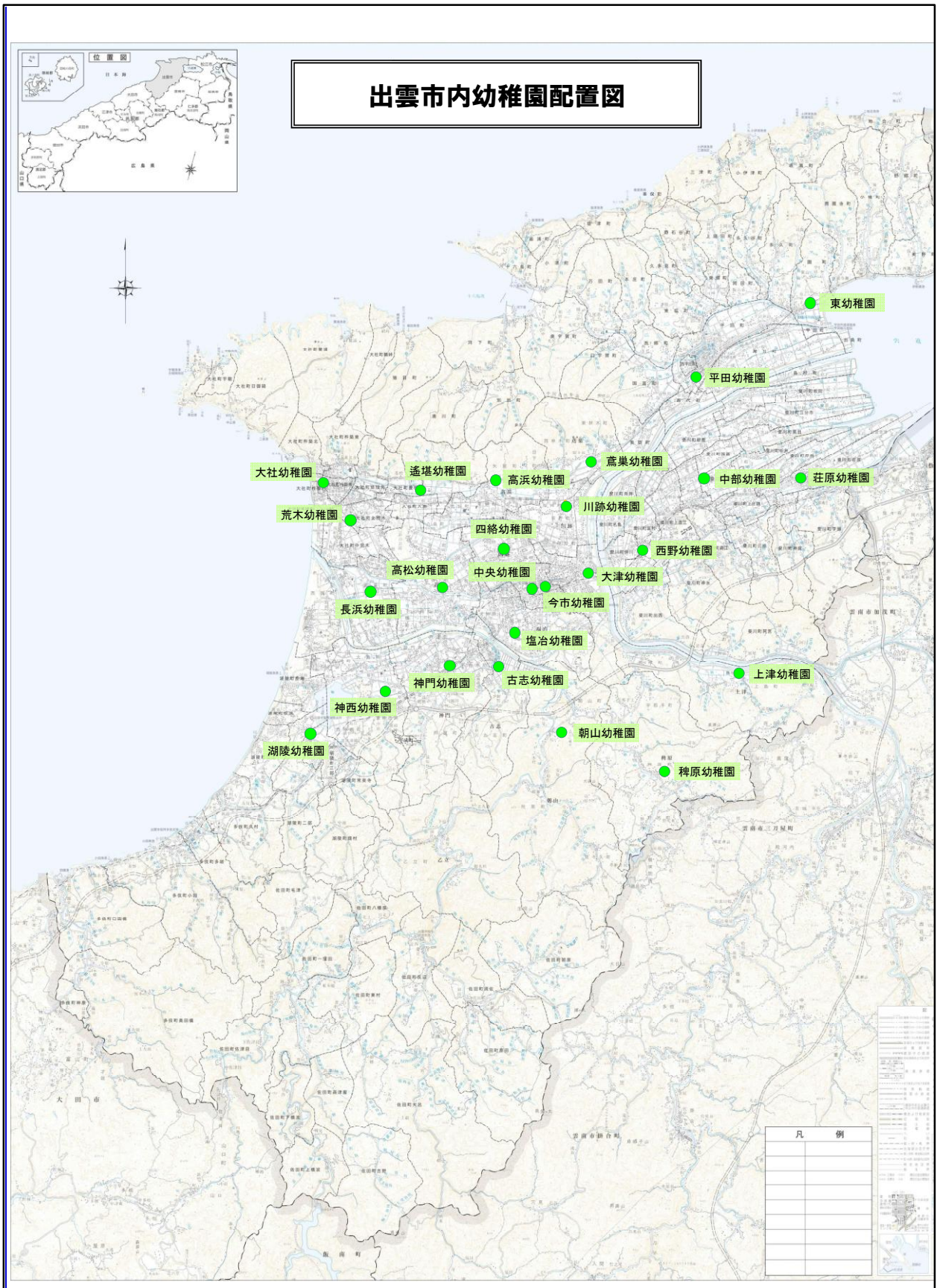
※令和4年～令和8年の数値は、各年4月末時点の住民基本台帳データによる。

※令和12年以降の数値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)のデータによる。

市内の小中学校・幼稚園の配置状況は下図のとおりです。

本市には、令和8年4月1日時点において、小学校29校、中学校14校、幼稚園25園の合計68の学校施設があります。





(3) 対象施設一覧

本計画の対象施設は下表のとおりです。

※上津幼稚園は、令和7年4月から休園している。

令和8年5月1日時点

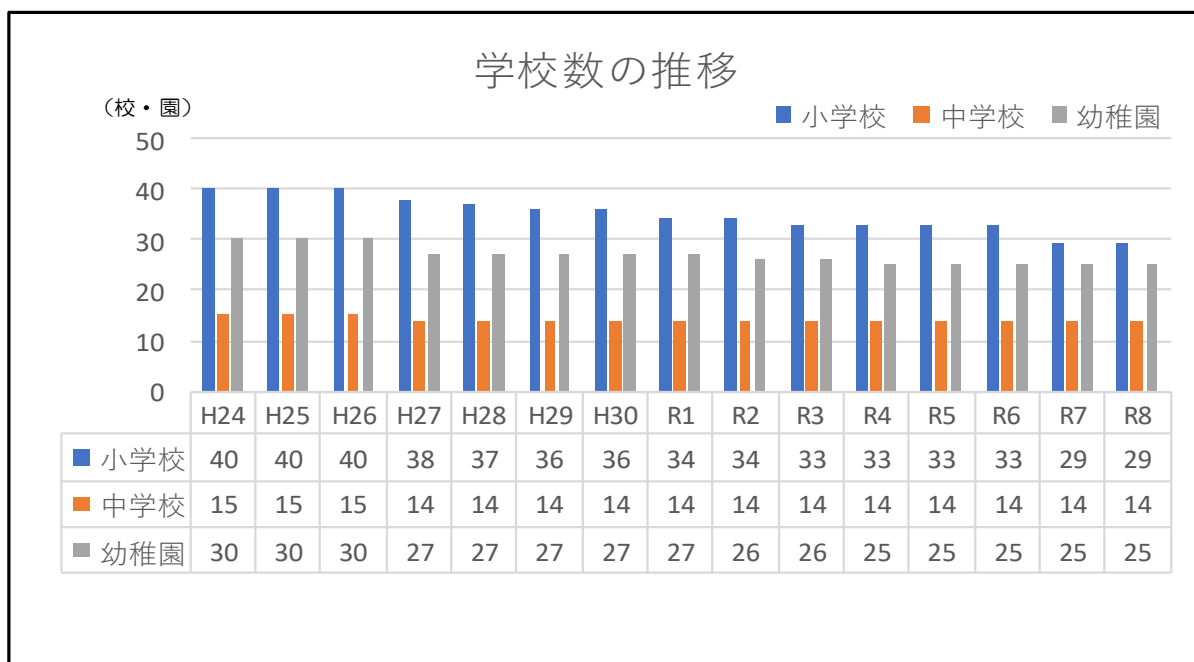
区分	地域	学校名	学級数(学級)		在籍者数 (人)
			通常学級	特別支援	
小学校	出雲	今市小学校	19	4	572
		大津小学校	23	4	672
		上津小学校	4	1	36
		塩冶小学校	25	7	762
		神戸川小学校	21	5	682
		高松小学校	25	7	734
		長浜小学校	12	2	284
		四絡小学校	21	4	647
		高浜小学校	8	4	219
		北陽小学校	21	3	636
		みなみ小学校	6	1	75
		稗原小学校	5	2	43
		神西小学校	6	2	173
		平田	平田小学校	12	3
	灘分小学校		6	2	149
	旅伏小学校		7	3	196
	さくら小学校		6	3	125
	朝陽小学校		7	2	170
	伊野小学校		5	3	47
	佐田	須佐小学校	6	2	81
	多伎	多伎小学校	6	2	120
	湖陵	湖陵小学校	9	3	235
	大社	大社小学校	11	3	236
		荒木小学校	12	3	320
		遙堪小学校	6	2	108
	斐川	莊原小学校	14	4	410
		西野小学校	23	6	710
		中部小学校	14	6	404
		出東小学校	7	2	166
計			347	95	9,352

区分	地域	学校名	学級数(学級)		在籍者数 (人)
			通常学級	特別支援	
中学校	出雲	第一中学校	16	7	598
		第二中学校	12	5	436
		第三中学校	21	5	756
		河南中学校	11	4	349
		浜山中学校	13	7	486
		南中学校	3	1	67
	平田	平田中学校	12	3	375
		向陽中学校	8	3	218
	佐田	佐田中学校	3	2	60
	多伎	多伎中学校	3	2	63
	湖陵	湖陵中学校	4	3	133
	大社	大社中学校	12	4	383
	斐川	斐川東中学校	9	2	287
		斐川西中学校	15	4	545
計			142	52	4,756
小中学校 合計			489	147	14,108

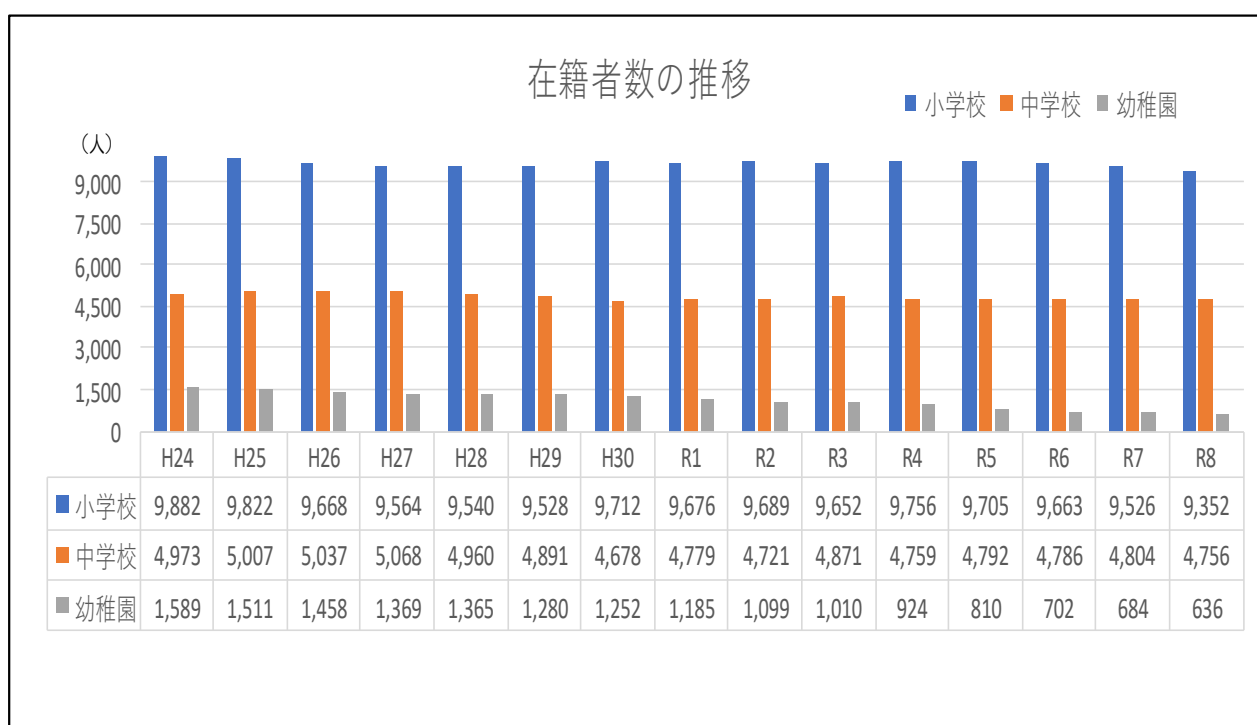
区分	地域	幼稚園名	学級数(学級)	在籍者数 (人)	
幼稚園	出雲	今市幼稚園	3	40	
		大津幼稚園	3	44	
		上津幼稚園	休園中		
		塩冶幼稚園	3	56	
		古志幼稚園	2	18	
		高松幼稚園	3	36	
		長浜幼稚園	1	8	
		四絡幼稚園	3	54	
		高浜幼稚園	2	15	
		川跡幼稚園	3	36	
		鳶巣幼稚園	1	4	
		朝山幼稚園	1	6	
		稗原幼稚園	1	6	
		神門幼稚園	3	30	
		神西幼稚園	1	8	
		中央幼稚園	3	71	
		平田	平田幼稚園	2	15
			東幼稚園	2	12
	湖陵	湖陵幼稚園	1	5	
	大社	大社幼稚園	2	18	
		荒木幼稚園	3	29	
		遙堪幼稚園	2	13	
	斐川	莊原幼稚園	3	32	
		西野幼稚園	3	45	
		中部幼稚園	3	35	
計			54	636	

(4) 学校数等の推移

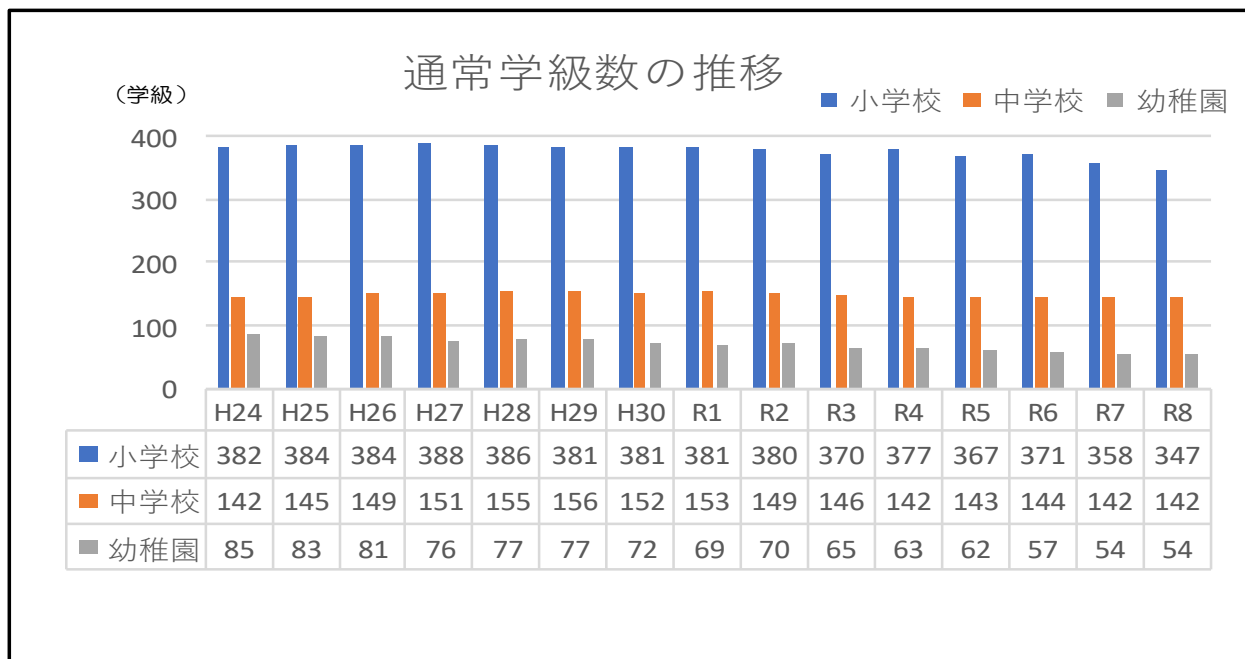
学校数、在籍者数、通常学級数の推移については下図のとおりです。



学校数は、平成24年度に小学校40校、中学校15校であったものが、再編統合により令和7年度には小学校29校、中学校14校に減少しています。



児童・生徒数は、平成24年度に小学校9,882人、中学校4,973人であったものが、令和8年度には小学校9,352人、中学校4,756人になっており、今後も減少傾向が続くものと想定されます。



通常学級数は、小学校においては平成24年度に382学級であったものが、令和8年度には347学級に減少していますが、中学校では142学級あったものが、変わらず同数となっています。その要因として、小学校については再編統合や児童数の減少によるものですが、中学校については、生徒数は減少しているものの、1学級あたりの上限人数が見直されたためと考えられます。

一方で、宅地化が進んでいる地区もあり、その校区については児童数の増加が見込まれ、教室不足が発生する可能性があります。

3 学校施設の状況

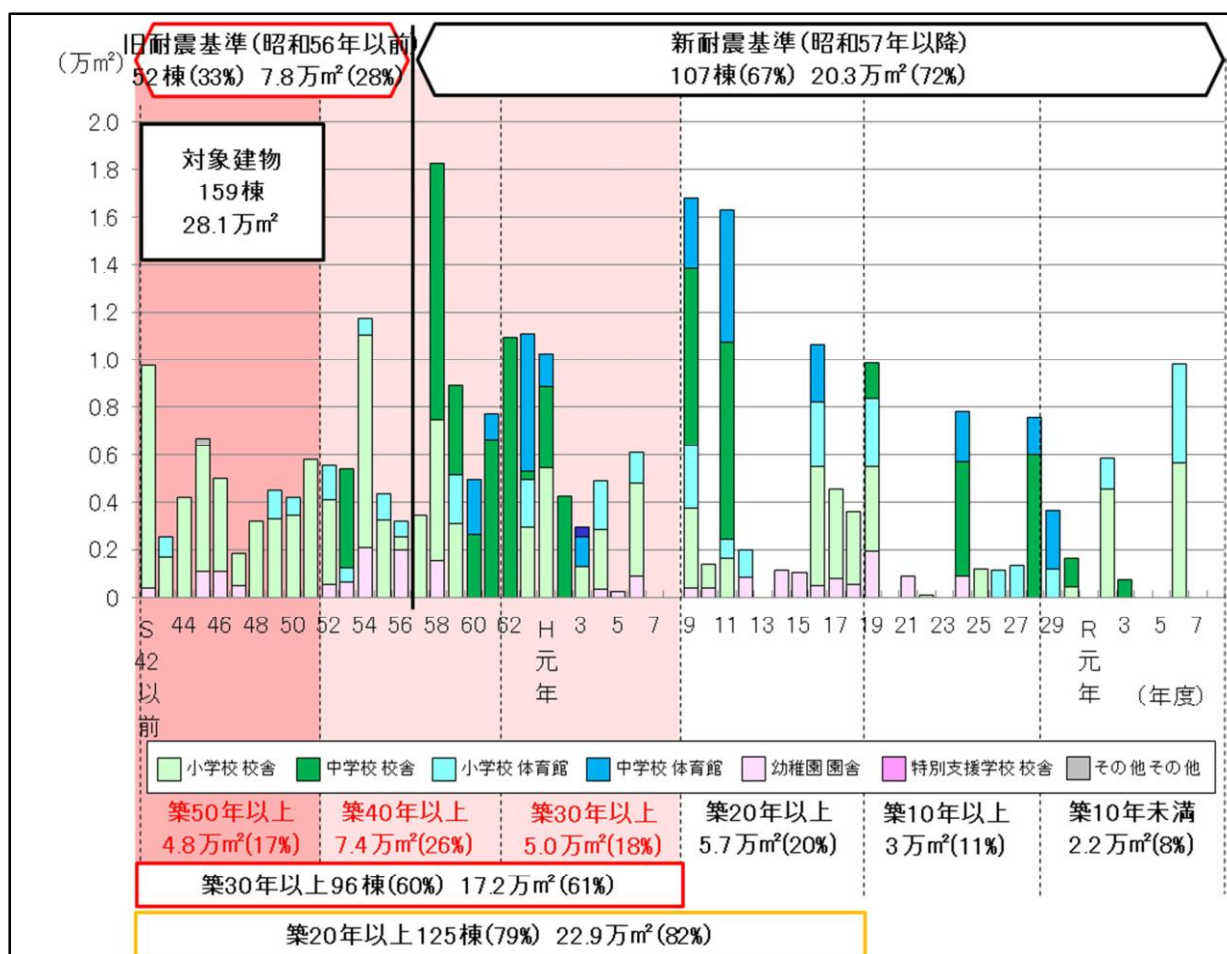
(1) 学校施設の保有状況

本市の小学校全体の床面積は 153,795 m²、中学校は 106,296 m²、幼稚園は 20,946 m²であり、学校施設全体の床面積は 281,037 m²となっています。

これらは、昭和 58 年前後に多数建築されており、建築後 40 年以上経過したものは約 12 万 m²、全体の 43% を占めており、老朽化が顕著となってくる建築後 30 年以上経過したものを含めると、全体の 60% を超える割合となっています。

また、旧耐震基準である昭和 56 年 5 月以前に建築されたものは、約 8 万 m²、全体の 28% を占めていますが、耐震化については全て完了しています。

※令和 8 年 4 月 1 日時点



(2) 学校施設の老朽化等の実態

建物の劣化状況については、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）を参考に評価を行います。

構造躯体については、旧耐震基準による建物（昭和 56 年以前建築）のコンクリート圧縮強度を調べたところ、全ての建物について、必要な強度（13.5N/mm² 以上）を満たしていることを確認しています。

構造躯体以外は、現地調査等により適切な評価を行います。劣化状況評価の基準や健全度評価の算定方法は、下図に示すとおりです。各建物の個別の評価については、次頁の「学校施設の棟別劣化状況評価表」のとおりです。

劣化状況評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁、内部仕上】	
評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある
	（安全上、機能上、問題あり）
	（躯体の耐久性に影響を与えている）
	（設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価

【電気設備、機器設備】	
評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	41年以上
劣化 D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある場合

健全度評価の算定方法

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

③健全度

総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 66

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

健全度計算例

	評価		評価点		配分		
1 屋根・屋上	C	⇒	40	×	4.2	=	168
2 外壁	D	⇒	10	×	14.9	=	149
3 内部仕上	B	⇒	75	×	21.3	=	1,598
4 電気設備	A	⇒	100	×	9.0	=	900
5 機械設備	C	⇒	40	×	16.6	=	664
						計	3,479
							÷ 66
						健全度	53

学校施設の棟別劣化状況評価表

令和8年4月1日時点

建物基本情報											劣化状況評価					
通し 番号	施設 名	建物 名 ■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
			中 分 類	棟 区 分 用途				西 暦	和 暦							
1	今市小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	4	4,524	1979	S54	47	C	C	A	B	B	73
2	今市小学校	校舎 2(児童クラブ共)	小学校	校舎	RC	2	1,917	2024	R6	2	A	A	A	A	A	100
3	今市小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	2	61	2024	R6	2	A	A	A	A	A	100
4	今市小学校	体育館(児童クラブ共)	小学校	体育館	RC	2	1,691	2007	H19	19	A	C	A	A	A	86
5	大津小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	2,473	1974	S49	52	C	C	C	C	C	40
6	大津小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	834	1974	S49	52	C	C	C	C	C	40
7	大津小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	3	2,324	1997	H9	29	B	B	B	B	B	75
8	大津小学校	校舎 4	小学校	校舎	RC	3	299	1997	H9	29	A	B	B	B	B	77
9	大津小学校	体育館(児童クラブ共)	小学校	体育館	RC	2	2,412	2024	R6	2	A	A	A	A	A	100
10	上津小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	1,253	1966	S41	60	A	B	B	C	C	63
11	上津小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	4	991	1998	H10	28	A	B	B	B	B	77
12	上津小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,111	1997	H9	29	A	B	B	B	B	77
13	塩冶小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	1,347	1972	S47	54	C	D	C	C	C	33
14	塩冶小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	5,435	1989	H元	37	C	C	B	B	B	65
15	塩冶小学校	校舎 3	小学校	校舎	S	2	430	2018	H30	8	A	A	A	A	A	100
16	塩冶小学校	体育館 1	小学校	体育館	S	1	1,050	1988	S63	38	A	A	B	B	B	82
17	塩冶小学校	体育館 2	小学校	体育館	S	2	789	1999	H11	27	B	B	B	B	B	75
18	神戸川小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	1,095	1969	S44	57	A	B	A	B	B	85
19	神戸川小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	2,057	1969	S44	57	A	B	A	B	B	85
20	神戸川小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	3	3,721	2005	H17	21	A	B	A	A	A	94
21	神戸川小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,421	2004	H16	22	B	B	B	B	B	75
22	高松小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	4	5,978	1983	S58	43	C	C	C	C	C	40
23	高松小学校	プール棟	小学校	校舎	S	1	758	1997	H9	29	A	B	B	B	B	77
24	高松小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,487	1997	H9	29	B	C	B	B	B	67
25	長浜小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	961	1959	S34	67	C	D	C	C	C	33
26	長浜小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	2,460	1988	S63	38	A	B	B	B	B	77
27	長浜小学校	体育館	小学校	体育館	RC	1	920	1988	S63	38	A	A	B	B	B	82
28	四絡小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	1,340	1975	S50	51	A	B	B	B	B	77
29	四絡小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	2,138	1975	S50	51	B	C	B	B	B	67
30	四絡小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	3	2,517	2007	H19	19	A	B	A	A	A	94
31	四絡小学校	校舎 4	小学校	校舎	RC	3	1,084	2007	H19	19	A	B	A	A	A	94
32	四絡小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	709	1975	S50	51	C	D	C	C	C	33
33	高浜小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	2,919	1994	H6	32	B	C	B	B	B	67
34	高浜小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,279	1994	H6	32	A	C	B	B	B	69
35	北陽小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	3,578	1977	S52	49	B	C	C	C	C	42
36	北陽小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	1,623	1999	H11	27	A	B	A	A	A	94
37	北陽小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	3	1,193	2013	H25	13	A	B	A	A	A	94
38	北陽小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	735	1977	S52	49	B	D	C	C	C	35
39	みなみ小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	1,680	1968	S43	58	C	C	B	C	C	51
40	みなみ小学校	校舎 2	小学校	校舎	W	1	205	1961	S36	65	C	C	B	C	C	51
41	みなみ小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	684	1981	S56	45	B	C	B	B	B	67
42	稗原小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	2,069	1992	H4	34	B	C	B	B	B	67
43	稗原小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	461	1992	H4	34	A	B	B	B	B	77
44	稗原小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,078	1992	H4	34	A	B	B	B	B	77
45	神西小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	2,210	1970	S45	56	C	B	C	C	C	48
46	神西小学校	校舎 2	小学校	校舎	S	1	422	2020	R2	6	A	A	A	A	A	100
47	神西小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,138	2000	H12	26	B	B	A	A	A	93
48	平田小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	4,428	1967	S42	59	B	D	C	C	C	35
49	平田小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,208	2017	H29	9	A	A	A	A	A	100
50	灘分小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	2	1,406	1980	S55	46	B	D	C	C	C	35
51	灘分小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	1,048	1969	S44	57	B	D	C	C	C	35
52	灘分小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	722	1979	S54	47	A	A	B	B	B	82
53	さくら小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,486	1982	S57	44	C	C	B	C	C	51
54	さくら小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	891	1984	S59	42	A	C	B	B	B	69

建物基本情報											劣化状況評価					
通し 番号	施設 名	建物 名 ■:築50年以上 □:築30年以上	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	屋根・ 屋上	外壁	内部仕 上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
			中 分 類	棟 の 用 途				西 暦	和 暦							
55	伊野小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	1,845	1980	S55	46	C	C	B	C	C	51
56	伊野小学校	体育館	小学校	体育館	S	1	932	1992	H4	34	C	B	B	B	B	73
57	朝陽小学校	校舎 1(児童クラブ共)	小学校	校舎	RC	3	3,868	2020	R2	6	A	A	A	A	A	100
58	朝陽小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	63	2020	R2	6	A	A	A	A	A	100
59	朝陽小学校	体育館(児童クラブ共)	小学校	体育館	RC	2	1,330	2020	R2	6	A	A	A	A	A	100
60	旅伏小学校	校舎(児童クラブ共)	小学校	校舎	RC	3	3,650	2024	R6	2	A	A	A	A	A	100
61	旅伏小学校	体育館(児童クラブ共)	小学校	体育館	RC	2	1,747	2024	R6	2	A	A	A	A	A	100
62	須佐小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,108	1984	S59	42	B	B	B	C	C	61
63	須佐小学校	体育館	小学校	体育館	S	2	1,174	1984	S59	42	B	B	B	C	C	61
64	多伎小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,063	2006	H18	20	B	B	A	A	A	93
65	多伎小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,176	2007	H19	19	A	B	A	A	A	94
66	湖陵小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	3,218	1973	S48	53	B	C	B	C	C	54
67	湖陵小学校	体育館	小学校	体育館	S	2	1,182	1974	S49	52	A	A	B	B	B	82
68	大社小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	4,263	2004	H16	22	A	B	B	B	B	77
69	大社小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,281	2004	H16	22	C	B	B	B	B	73
70	荒木小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	1,968	1979	S54	47	B	C	C	C	C	42
71	荒木小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	3	2,445	1979	S54	47	B	C	C	C	C	42
72	荒木小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,097	1980	S55	46	A	D	C	C	C	37
73	逢坂小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	1,604	1976	S51	50	B	D	C	C	C	35
74	逢坂小学校	体育館	小学校	体育館	S	2	697	1977	S52	49	A	A	C	C	C	57
75	荘原小学校	校舎1	小学校	校舎	RC	3	4,202	1976	S51	50	C	C	C	C	C	40
76	荘原小学校	校舎2	小学校	校舎	S	1	99	2010	H22	16	A	A	A	A	A	100
77	荘原小学校	体育館	小学校	体育館	S	2	843	1968	S43	58	A	C	C	C	C	44
78	西野小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	2,113	1971	S46	55	C	C	B	C	C	51
79	西野小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	503	1988	S63	38	B	B	B	B	B	75
80	西野小学校	校舎 3	小学校	校舎	S	2	754	2004	H16	22	B	A	B	B	B	81
81	西野小学校	校舎 4	小学校	校舎	RC	2	1,821	1971	S46	55	B	B	C	C	C	50
82	西野小学校	校舎 5	小学校	校舎	S	1	178	2020	R2	6	A	A	A	A	A	100
83	西野小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,335	2015	H27	11	A	B	A	A	A	94
84	中部小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	3,120	1970	S45	56	C	C	C	C	C	40
85	中部小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	513	1981	S56	45	C	C	C	C	C	40
86	中部小学校	校舎 3	小学校	校舎	RC	2	1,272	1991	H3	35	B	B	B	B	B	75
87	中部小学校	体育館	小学校	体育館	RC	2	1,158	2014	H26	12	A	A	A	A	A	100
88	出東小学校	校舎 1	小学校	校舎	RC	3	2,514	1967	S42	59	C	C	B	C	C	51
89	出東小学校	校舎 2	小学校	校舎	RC	2	1,000	1994	H6	32	B	B	B	B	B	75
90	出東小学校	体育館	小学校	体育館	RC	1	609	1978	S53	48	A	A	B	B	B	82
91	第一中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	6,629	1986	S61	40	B	C	B	B	B	67
92	第一中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,454	1999	H11	27	B	B	A	A	A	93
93	第二中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	973	1978	S53	48	C	C	B	C	C	51
94	第二中学校	校舎 2	中学校	校舎	RC	4	3,174	1978	S53	48	C	C	B	C	C	51
95	第二中学校	校舎 3	中学校	校舎	RC	4	1,444	2007	H19	19	A	B	A	A	A	94
96	第二中学校	校舎 4	中学校	校舎	S	2	767	2021	R3	5	A	A	A	A	A	100
97	第二中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,409	2004	H16	22	A	B	A	A	A	94
98	第三中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	533	1984	S59	42	A	B	A	A	A	94
99	第三中学校	校舎 2	中学校	校舎	RC	4	3,186	1984	S59	42	A	B	A	B	B	85
100	第三中学校	校舎 3	中学校	校舎	RC	4	3,208	2016	H28	10	B	B	A	A	A	93
101	第三中学校	校舎 4	中学校	校舎	RC	4	1,195	2018	H30	8	A	A	A	A	A	100
102	第三中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,459	2017	H29	9	B	A	A	A	A	98
103	河南中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	4,274	1990	H2	36	B	C	B	B	B	67
104	河南中学校	武道場	中学校	武道場	RC	1	465	1991	H3	35	A	B	B	B	B	77
105	河南中学校	体育館	中学校	体育館	W	2	1,242	1991	H3	35	B	B	B	B	B	75
106	浜山中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	4	5,412	1987	S62	39	B	C	C	C	C	42
107	浜山中学校	校舎 2	中学校	校舎	RC	1	345	1988	S63	38	B	C	C	C	C	42
108	浜山中学校	体育館	中学校	体育館	RC	2	1,998	1988	S63	38	B	C	C	C	C	42
109	南中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	3,447	1989	H元	37	C	C	B	B	B	65
110	南中学校	体育館	中学校	体育館	RC	2	1,389	1989	H元	37	B	B	B	B	B	75

建物基本情報												劣化状況評価					
通し 番号	施設 名	建物 名 :築50年以上 :築30年以上	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
			中 分 類	棟 区 分 の 用 途				西 暦	和 暦								
111	平田中学校	校舎	中学校	校舎	RC	2	8,318	1999	H11	27	C	B	B	B	B	73	
112	平田中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	3,109	1999	H11	27	A	B	B	B	B	77	
113	向陽中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	4,782	2012	H24	14	B	A	A	A	A	98	
114	向陽中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,173	2012	H24	14	B	A	A	A	A	98	
115	佐田中学校	校舎	中学校	校舎	RC	2	2,794	2016	H28	10	A	A	A	A	A	100	
116	佐田中学校	体育館	中学校	体育館	RC	2	1,567	2016	H28	10	A	A	A	A	A	100	
117	多伎中学校	校舎	中学校	校舎	RC	4	2,630	1985	S60	41	B	C	B	B	B	67	
118	多伎中学校	体育館	中学校	体育館	RC	1	1,110	1986	S61	40	B	C	B	B	B	67	
119	湖陵中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	3,563	1983	S58	43	D	C	C	C	C	38	
120	湖陵中学校	校舎 2	中学校	校舎	S	1	180	1983	S58	43	B	B	B	C	C	61	
121	湖陵中学校	体育館	中学校	体育館	RC	1	1,356	1988	S63	38	B	B	B	B	B	75	
122	大社中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	4,298	1983	S58	43	C	C	B	B	B	65	
123	大社中学校	校舎 2	中学校	校舎	RC	3	2,732	1983	S58	43	C	C	B	B	B	65	
124	大社中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,300	1985	S60	41	C	C	B	B	B	65	
125	斐川東中学校	校舎 1	中学校	校舎	RC	3	5,256	1987	S62	39	C	C	B	B	B	65	
126	斐川東中学校	校舎 2	中学校	校舎	S	1	250	1987	S62	39	B	B	C	B	B	64	
127	斐川東中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,474	1988	S63	38	D	D	B	B	B	56	
128	斐川西中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	7,489	1997	H9	29	A	B	B	B	B	77	
129	斐川西中学校	体育館	中学校	体育館	RC	3	2,912	1997	H9	29	C	B	B	B	B	73	
130	今市幼稚園	園舎 1	幼稚園	園舎	S	1	389	1970	S45	56	B	C	B	C	C	54	
131	今市幼稚園	園舎 2	幼稚園	園舎	S	1	380	1970	S45	56	B	C	B	C	C	54	
132	今市幼稚園	園舎 3	幼稚園	園舎	W	1	312	1970	S45	56	B	C	B	C	C	54	
133	今市幼稚園	遊戯室	幼稚園	体育館	W	1	257	1970	S45	56	C	C	B	C	C	51	
134	大津幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	894	1994	H6	32	C	B	B	B	B	73	
135	上津幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	400	1997	H9	29	B	B	B	B	B	75	
136	塩冶幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	2	1,515	1983	S58	43	B	C	B	C	C	54	
137	古志幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	503	2007	H19	19	B	B	A	A	A	93	
138	高松幼稚園	園舎 1	幼稚園	園舎	S	1	534	1977	S52	49	B	C	B	C	C	54	
139	高松幼稚園	園舎 2	幼稚園	園舎	W	1	387	1960	S35	66	B	C	B	C	C	54	
140	長浜幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	534	2006	H18	20	B	B	A	A	A	93	
141	四結幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	1,163	2002	H14	24	B	B	B	B	B	75	
142	高浜幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	645	1978	S53	48	B	B	C	C	C	50	
143	川跡幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	878	2009	H21	17	A	A	A	A	A	100	
144	鷹巣幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	400	2007	H19	19	A	B	A	A	A	94	
145	朝山幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	399	1998	H10	28	B	B	B	B	B	75	
146	稗原幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	346	1992	H4	34	B	C	B	B	B	67	
147	神門幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	859	2000	H12	26	C	B	A	A	A	91	
148	神西幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	497	2004	H16	22	C	B	A	A	A	91	
149	中央幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	1	234	1993	H5	33	A	C	C	B	B	57	
150	平田幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	676	1971	S46	55	B	B	C	C	C	50	
151	平田幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	398	1971	S46	55	B	B	C	C	C	50	
152	東幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	1,014	2007	H19	19	C	B	A	A	A	91	
153	湖陵幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	W	1	817	2005	H17	21	B	B	A	A	B	87	
154	大社幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	2	1,999	1981	S56	45	B	C	B	C	C	54	
155	荒木幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	2	1,419	1979	S54	47	C	C	B	C	C	51	
156	遠坂幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	RC	2	675	1979	S54	47	C	C	B	C	C	51	
157	荘原幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	890	2012	H24	14	A	B	A	A	A	94	
158	西野幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	1,031	2003	H15	23	B	B	B	B	B	75	
159	中部幼稚園	園舎	幼稚園	園舎	S	1	501	1972	S47	54	C	C	B	C	C	51	

＜劣化状況評価＞

建物の屋根又は外壁がD判定となっている建物は、11棟で全体の7%であり、そのほとんどは築40年以上を経過しています。健全度が50点未満の建物は、24棟で全体の15%となっています。これらの建物については、早期に改修等をする必要があります。

(3) 学校施設の教育環境の実態

学校施設は、安全・安心で快適な学校生活を送るために教育環境の質的向上を図っていくことが重要です。時代とともに社会情勢や教育環境は大きく変化してきており、建物の老朽化対策だけではなく、時代の変化に対応した施設整備を検討・実施していくことが求められています。

本市の教育環境の実態については次のとおりであり、教育環境の質的向上を図る必要があると考えています。

①エアコン整備

小中学校の普通教室や、幼稚園の保育室へのエアコン設置は全て完了しています。一方で小中学校の特別教室については、図書室、音楽室、理科室、コンピューター教室は全て設置していますが、図工室、美術室、技術室、家庭科室は未設置であり、特別教室全体での設置率は74.4%となっており、熱中症対策のため更なるエアコンの設置が求められています。

また、全体の約10%にあたる140室のエアコンが設置後20年を経過しており、老朽化による修繕や更新にかかる費用が増大し、計画的な更新が必要となってきました。

異常気象ともいえる近年の猛暑は、学校活動に影響を及ぼしており、熱中症対策のため夏場のエアコン使用は欠かせないものとなっているため、体育館や遊戯室のエアコン設置についても重要な課題となっています。

②バリアフリー化

校舎（園舎）と体育館におけるバリアフリースイレ、スロープ、エレベーターの設置率については下表のとおりです。

誰もが安心して施設を利用できるよう、バリアフリー化を進めることは重要であり、特に災害時に避難所として利用が見込まれる体育館や園舎への整備については、優先的に取り組んでいく必要があります。

バリアフリースイレ、スロープ、エレベーター設置率

	校舎（園舎）		体育館		エレベーター
	トイレ	スロープ	トイレ	スロープ	
小学校	75.9%	75.9%	93.1%	96.6%	37.9%(11校)
中学校	85.7%	85.7%	100.0%	100.0%	42.9%(6校)
幼稚園	83.3%	75.0%	—	—	—
合 計	80.6%	77.6%	95.3%	97.7%	39.5%(17校)

令和8年4月1日時点

③トイレ洋式化

児童・生徒・園児用のトイレの洋式化率は、小学校が48.6%、中学校が44.5%、幼稚園が57.4%、全体では48.2%です。

生活様式の変化や多様化するニーズに応えるとともに、衛生面や安全面に配慮するためにも、トイレの洋式化は課題となっています。

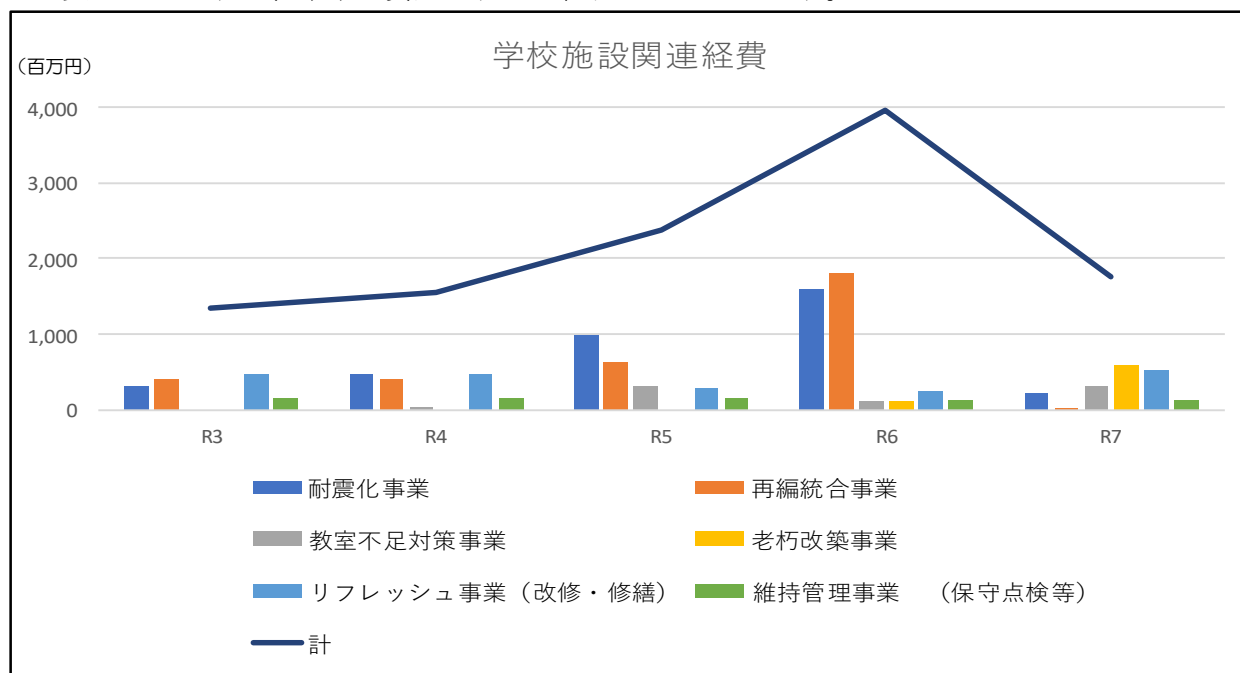
④照明LED化

体育館照明のLED化については、小学校9校、中学校2校の整備が完了しています。校舎照明は、小学校2校が整備済みです。

水銀灯や蛍光灯は、製造中止や輸出入禁止が決定されており、環境や省エネに配慮したLED照明への転換が求められています。

(4) 学校施設関連経費の状況

過去5年間（令和3年度～令和7年度）の学校施設関連経費の推移は下記のとおりです。学校再編統合による新築や耐震化事業による改修等があったため、年度ごとにばらつきが見受けられますが、年平均費用は約22億円となっています。



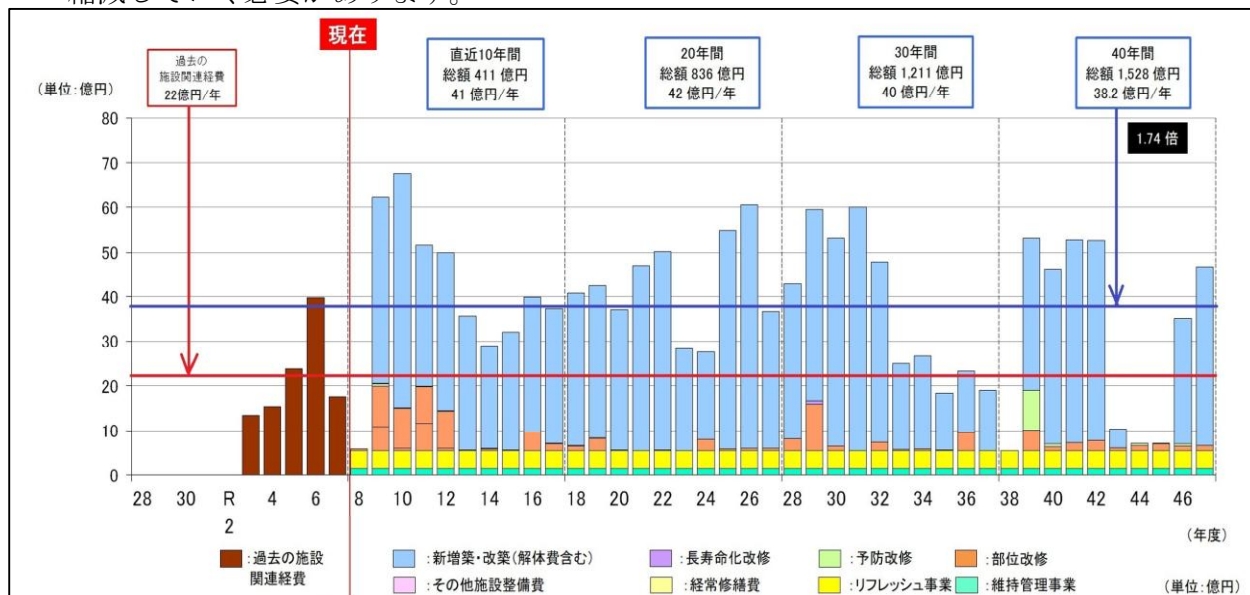
単位：百万円

	R3	R4	R5	R6	R7
耐震化事業	310	475	982	1,591	220
再編統合事業	405	401	642	1,797	17
教室不足対策事業	0	31	305	101	311
老朽改築事業	0	0	0	104	585
リフレッシュ事業 (改修・修繕)	484	477	298	248	509
維持管理事業 (保守点検等)	143	158	154	124	124
計	1,342	1,542	2,381	3,965	1,766

(5) 将来の更新コスト（従来型）

現状のまま従来の手法で施設改修・改築を実施していく場合の、施設にかかる将来更新費用を文部科学省の学校施設の長寿命化計画に係る解説書附属ソフト（以下、「文部科学省の試算ソフト」という。）を用いて試算すると、40年間にかかる更新費用の総額は約1,528億円（約38.2億円／年）と見込まれます。

過去5年間の施設関連経費の平均は約22億円となっており、従来型を継続した場合には約1.74倍の費用がかかる試算となっており、今後の維持・改築にかかるコストについて縮減していく必要があります。



※従来型のコスト算定条件

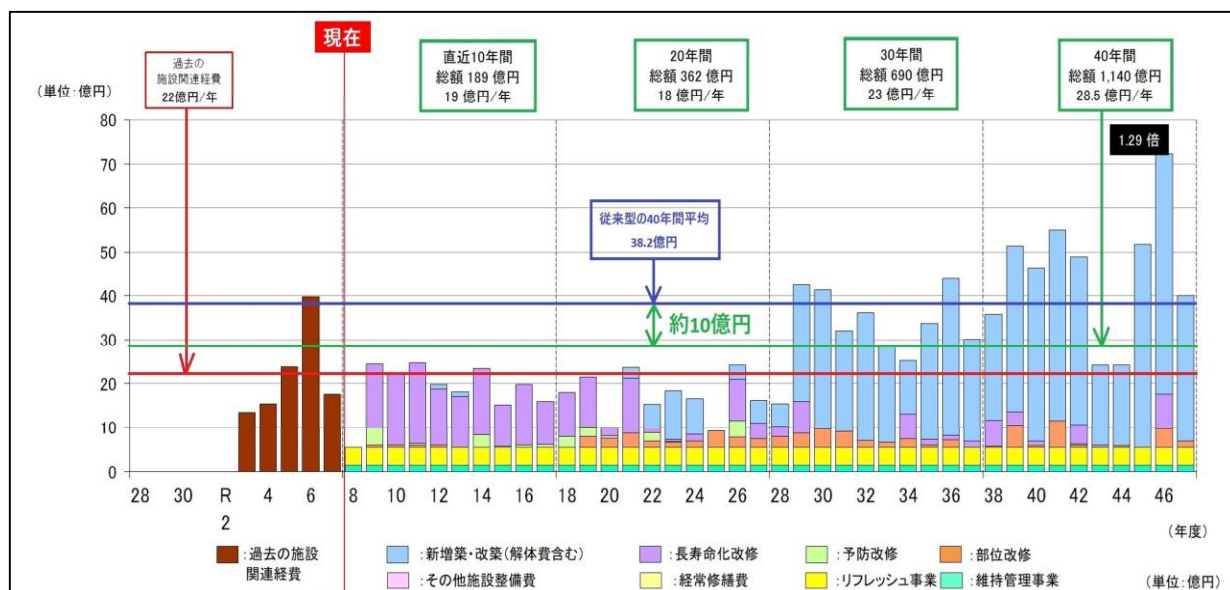
鉄筋コンクリート造の建物は、建築後30年で大規模改修、60年で改築を行う。

鉄骨造の建物は、建築後20年で大規模改修、40年で改築を行う。

(6) 将来の更新コスト（長寿命化型）

文部科学省の試算ソフトによると、長寿命化型の手法で施設改修・改築を実施していく場合の将来更新費用は、40年間で総額約1,140億円（約28.5億円／年）と見込まれます。これは過去5年間の施設関連経費の約1.29倍となります。

従来型の維持・更新コストと比較すると、40年間で約388億円、年平均約10億円の削減効果が見込めます。



※長寿命化型のコスト算定条件

鉄筋コンクリート造の建物は、建築後20年と60年で大規模改修、40年で長寿命化改修、80年で改築を行う。

鉄骨造の建物は、建築後20年と50年で大規模改修、35年で長寿命化改修、70年で改築を行う。

(7) 従来型と長寿命化型のライフサイクルコスト比較

下表は、校舎及び体育館の建築後から改築するまでのライフサイクルコストを、それぞれ従来型の手法と長寿命化型の手法で実施した場合を比較したものです。校舎については約10%のコスト縮減、体育館については約30%のコスト縮減が見込めます。

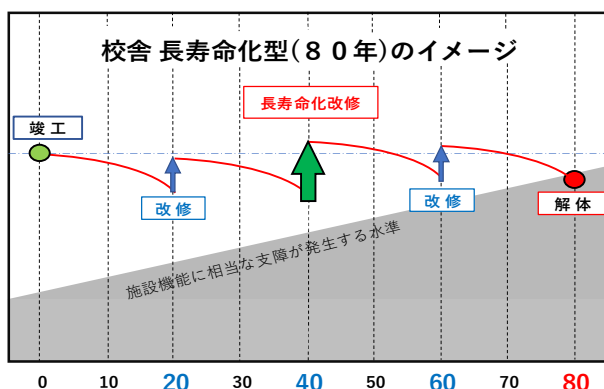
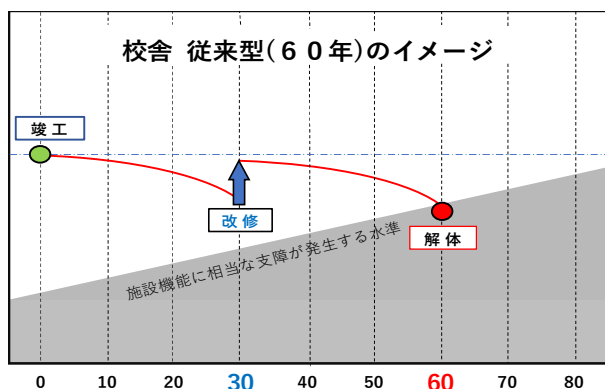
鉄筋コンクリート造 校舎の改築までのライフサイクルコスト比較[概算]

※ 床面積あたりの単価

従来型(60年)の場合				
屋根仕様 築年数			シート防水	瓦葺き
改修	30年	屋根 (シート防水)	10	—
		外 壁	18	18
		キュービ`クル取替	6	6
改築	59年	改 築	477	477
	60年	解 体	40	40
60年 計			551 千円/㎡	541 千円/㎡
年平均費 (計÷60年)			9.18 千円/㎡・年	9.02 千円/㎡・年

長寿命化型(80年)の場合					
屋根仕様 築年数			シート防水	瓦葺き	
改修	20年	屋 根 (シート防水)	10	—	
		外 壁	18	18	
	40年	外部建具	5	5	
		内 部 (床・壁・天井)	30	30	
		トイレ改修	25	25	
		照明器具	6	6	
		電気配線	7	7	
		給排水管	5	5	
		キュービ`クル取替	6	6	
		貯水槽取替	5	5	
	60年	屋 根 (シート防水)	10	—	
		外 壁	18	18	
	改築	79年	改 築	477	477
		80年	解 体	40	40
80年 計			662 千円/㎡	642 千円/㎡	
年平均費 (計÷80年)			8.28 千円/㎡・年	8.03 千円/㎡・年	

長寿命化型÷従来型 (80年) (60年)	90.1%	89.0%
	平均 89.6%	



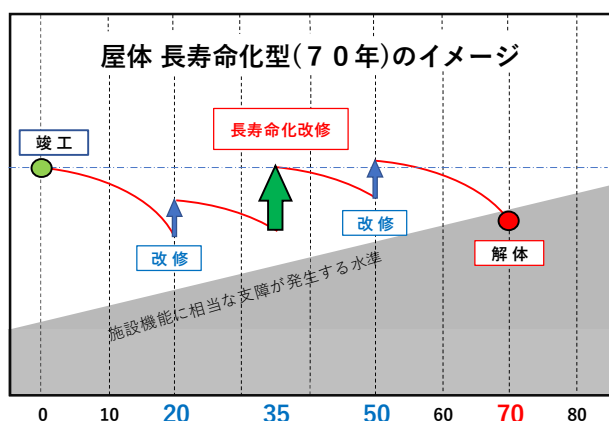
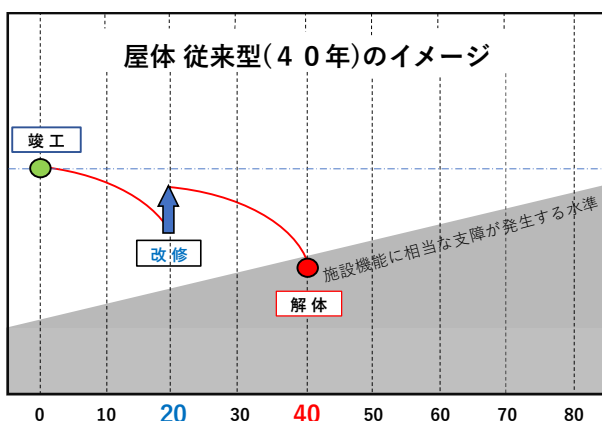
鉄骨造 体育館 の改築までのライフサイクルコスト比較[概算]

※ 床面積あたりの単価

従来型(４０年)の場合				
屋根仕様 築年数			折版葺き	瓦棒葺き
改修	20年	屋 根 (瓦棒)	—	33
		屋 根 (折版)	16	—
		外 壁	18	18
		照明器具	12	12
		改築	39年	改 築
40年	解 体		40	40
40年 計			588 千円/㎡	605 千円/㎡
年平均費 (計÷４０年)			14.70 千円/㎡・年	15.13 千円/㎡・年

長寿命化型(70年)の場合				
屋根仕様 築年数			折版葺き	瓦棒葺き
改修	20年	屋 根 (瓦棒)	—	33
		屋 根 (折版)	16	—
		外 壁	18	18
	35年	外部建具	5	5
		内 部 (床・壁)	22	22
		トイレ改修	17	17
		照明器具	12	12
		電気配線	7	7
		給排水管	4	4
		体育器具取替	18	18
	50年	屋 根 (瓦棒)	—	33
		屋 根 (折版)	16	—
		外 壁	18	18
改築	69年	改 築	502	502
	70年	解 体	40	40
70年 計			695 千円/㎡	729 千円/㎡
年平均費 (計÷70年)			9.93 千円/㎡・年	10.41 千円/㎡・年

長寿命化型÷従来型		67.5%	68.9%
(70年)	(40年)	平均 68.2%	



1 学校施設整備の基本的な方針

(1) 改修等の基本方針

①「事後保全型」から「予防保全型」への転換

老朽化が著しくなり機能面・安全面に支障となった後に修繕等を行う「事後保全型」では、施設の長期的な機能維持や使用が困難となる可能性があります。また、突発的な修繕に伴い、多額の費用が必要になる可能性もあります。今後は、損傷が軽微である早期段階から予防的な改修を行う「予防保全型」の考え方に転換し、突発的な事故の防止、修繕費用の抑制及び改修費の平準化を図ります。

②安全性・機能性を優先的に確保

建物の耐震化は、令和6年度までに全て完了しました。今後は、建物の劣化状況評価の結果を踏まえ、安全性や機能性の低下が著しい施設について優先的に改築や改修を行います。また、児童・生徒・園児が安全・安心に生活できるよう防犯対策、防災対策などにも取り組めます。

③教育環境の質的向上

児童・生徒・園児が支障なく快適に学習ができるよう、エアコン整備、バリアフリー化、トイレ整備、省エネ対策などに取り組み、良好な教育環境を整えます。

④社会変化に応じた教育環境の整備

小中学校における9年間を見通した連続性や系統性のある教育活動を効果的に実践するための教育環境の整備を検討していきます。

(2) 目標使用年数の設定

施設の寿命を想定する指標として法定耐用年数が存在しますが、実際には法定耐用年数を超えて使用している状況です。したがって、(一社)日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考として目標使用年数を設定します。

構 造	法定耐用年数	「建築物の耐久計画に関する考え方」の範囲	目標 使用年数
鉄筋コンクリート造 (RC 造)	60年	50～80年	80年
鉄骨造 (S 造)	40年		70年

2 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

基本的な方針等を踏まえ、本計画における整備水準を次のとおりとします。

①安全・安心な施設整備

- ・老朽化による外壁の崩落や雨漏りなど安全性や機能性に支障を来すことのないよう外壁、屋上防水などの老朽改修を実施します。また、老朽化が著しい建物等については改築します。

②快適な教育環境の整備

- ・熱中症対策のためエアコン整備を実施します。
- ・多様な利用者に配慮するためバリアフリー化を実施します。
- ・清潔で使いやすいトイレ整備を実施します。

③環境への適応性

- ・ゼロカーボンの推進のため、LED照明器具への更新などの省エネ対策の実施や、太陽光発電設備の導入について検討します。

④学習環境の整備

- ・小中一貫教育推進のための施設整備、教室不足対策のための改修や増築を実施します。

(2) 維持管理の手法

学校施設としての機能を維持していくためには、日常的、定期的な点検を実施することが重要です。点検により建物の劣化状況を把握することで、故障や不具合の兆候を早期に発見することができるため、改修計画への反映や、突発的な事故・故障の発生を防ぎ、児童・生徒・園児の安全・安心が確保されるとともに、突発的な修繕に要する費用を縮減できます。

下表のとおり、学校（園）による日常点検や、異常気象等の要因による臨時点検はもとより、教育委員会による建築基準法第12条の規定に基づく法定点検等を行い、適切な維持管理に努めていきます。

担当	点検の種類	頻度	内容
学校	日常点検	毎日	施設・設備の日常的な安全点検
	定期点検	毎月、年3回	破損・腐食等の劣化状況の点検
	臨時点検	異常気象時、災害時、故障時など	事象に応じた点検
教育委員会	定期点検	毎年	学校からの営繕要望書に基づく、建築技師による目視点検
	法定点検	3年ごと	建築基準法第12条の規定に基づく点検
		年2回	消防法に基づく点検（総合・外観）
		10年ごと	建築基準法第12条の規定に基づく、外壁全面打診等調査
	臨時点検	異常気象時、災害時、故障時など	異常気象時、災害時、故障時等の学校点検により状況を把握し、必要に応じて現地を点検

第4章 長寿命化改修等の実施計画

「第3章 施設整備方針」を踏まえ、老朽化が著しい建物の改修や改築、教育環境の質的向上を図る改修、教室不足対策や小中一貫教育の推進に伴う施設整備について、各施設の実態および事業費の平準化等を考慮しながら計画的に実施していきます。

なお、この実施計画は教育委員会で策定するものであり、個々の事業の実施については、今後、市の財政計画と調整を図っていくものとします。

1 長寿命化改修等の優先度

児童・生徒・園児の安全性や、機能性確保のための老朽改修・改築を最優先とし、各施設の実態等を考慮のうえ計画期間内における実施計画を立てます。合わせて、質的向上に係る整備等についても、事業費の平準化を考慮しながら実施していきます。

また、毎年の児童・生徒数の推移を把握し、教室不足が見込まれる場合には、必要な整備を行います。

2 老朽改修等の実施計画

(1) 整備手法と優先度

計画期間内における老朽改修等の整備手法については、「老朽改築」、「老朽改修」又は「維持保全」とし、次頁のフロー図に示すように建物の劣化状況等を考慮し判定を行います。

判定により老朽改築を要するとされた建物については早期の整備が求められ、老朽改修と判定されたものについては、建築年の古いものや健全度の低いものから優先的に実施する必要があります。

整備計画を立てる際は、前述の優先度を踏まえたうえで、各施設の個別事情や事業費の平準化についても考慮することが必要です。

なお、整備手法の判断基準は次のとおりです。

・老朽改築

老朽化が著しく改修することが困難な建物や、老朽化しており学校規模に対して狭隘であるアリーナを有する体育館については、「改築」とします。

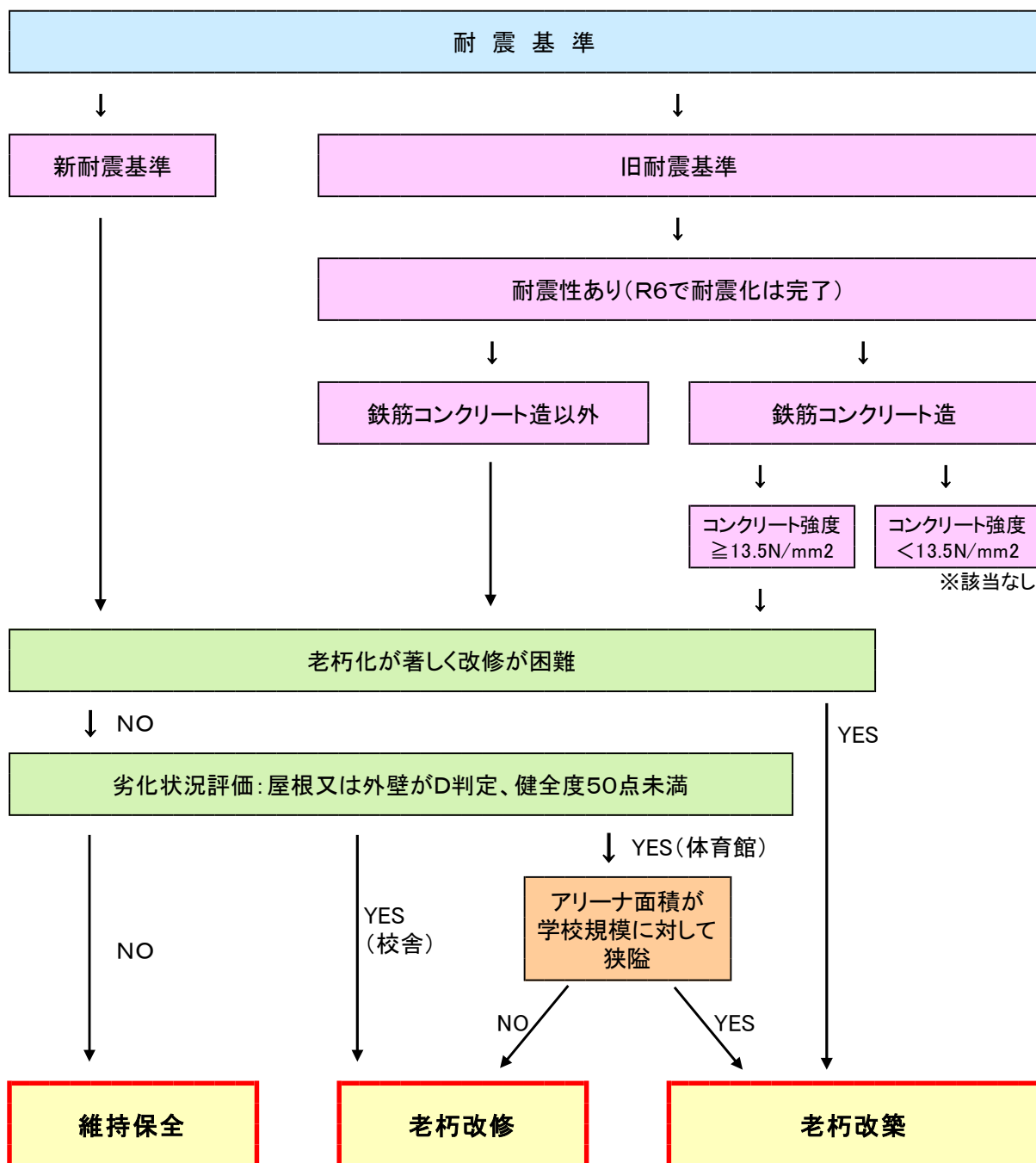
・老朽改修

劣化状況評価により屋根又は外壁がD判定である建物や健全度が50点未満の建物については、「改修」とします。

・維持保全

上記以外の建物については、「維持保全」とし、継続した日常点検や法定点検、適切な修繕を行うことで、教育環境の維持に努めます。

老朽改修の整備手法フロー図



(2) 老朽改修等の実施計画

老朽改修等の計画は下表のとおりです。劣化状況や改修に要する事業費を考慮のうえ、総合的に判断して決定しています。

＜老朽改築＞

区分	学校名及び建物名	実施理由
老朽化が著しい建物	長浜小学校 校舎 1	老朽化が著しく、建築後67年を経過していることから改築する。
	平田小学校 校舎	外壁の老朽化が著しく改修することが困難であるため改築する。
アリーナが狭隘である体育館	四絡小学校 体育館	学校規模に対してアリーナが狭隘であるため改築する。
	北陽小学校 体育館	

＜老朽改修＞

区分	学校名及び建物名	実施内容
老朽改修	大津小学校 校舎 1・2	①対象建物のうち、古い建物や健全度の低い建物の改修を優先的に実施する。 ②劣化、損傷がみられる床や建具・ロッカー等の改修、生活様式の変化に伴うトイレの洋式・乾式化などの内部改修についても状況に応じて実施する。
	塩冶小学校 校舎 1	
	高松小学校 校舎 1	
	北陽小学校 校舎 1	
	神西小学校 校舎 1	
	灘分小学校 校舎 1・2	
	荒木小学校 校舎 1・2、体育館	
	遙堪小学校 校舎	
	荘原小学校 校舎 1、体育館	
	中部小学校 校舎 1・2	
	浜山中学校 校舎 1・2、体育館	
	湖陵中学校 校舎	
	斐川東中学校 体育館	

3 良好な教育環境整備の実施計画

(1) 質的向上を図る整備

児童・生徒・園児が安全で快適に学習できる環境を整えるため、以下のとおり熱中症対策、バリアフリー化改修などを計画的に実施します。

①エアコン整備

(ア) 特別教室エアコン整備

令和7年度から8年度で、全ての中学校の美術室・家庭科室・技術室にエアコンを設置します。引き続き、小学校の家庭科室・図工室についても設置を予定しています。

(イ) 体育館エアコン整備

近年の猛暑の影響による児童生徒・教職員の熱中症対策や、災害時には避難所として利用するため、改築を予定している小中学校の体育館は改築時にエアコンを設置し、それ以外の体育館は、令和15年度までの設置について検討します。

(ウ) 遊戯室エアコン整備

避難所に指定されている幼稚園については、令和8年度にエアコンを設置します。引き続き、その他の幼稚園についても計画的に設置します。

(エ) エアコンの更新

設置後20年を経過したエアコンの更新を計画的に実施します。

②バリアフリー化改修

避難所指定されている小中学校の体育館や幼稚園の園舎に、バリアフリースイレーや段差解消のためのスロープを整備します。

避難所指定されていない校舎等については、支援が必要な児童・生徒・園児の在籍にあわせ整備します。

③トイレ洋式・乾式化

建物の老朽改修にあわせ、トイレの洋式・乾式化を進めます。

④照明LED化

照明器具のLED化について、高圧受電している小中学校・幼稚園は、本市における「公共施設照明LED化事業」により整備します。高圧受電していない幼稚園においても、計画的に整備します。

(2) 教室不足対策

児童生徒数の増加により普通教室不足が見込まれる施設については、増築や改修により対応します。

(3) 小中一貫教育の推進のための環境整備

小中一貫教育を効果的に推進するため、須佐小学校と佐田中学校を統合し、佐田中学校を「義務教育学校」として整備します。

4 今後10年間の長寿命化改修等の実施計画

整備内容			計画期間										
			R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
老朽改築	長浜小	校舎	北校舎 建築1年目	北校舎 建築2年目	南校舎 建築								
	四絡小	体育館	建築 1年目	建築 2年目									
	北陽小	体育館	造成 1年目	造成 2年目									
	平田小	校舎		建築		既設体育館 解体							
老朽改修	小学校	校舎	塩冶小 (校舎1)、 遙堀小		※ 大津小(校舎1・2)、高松小(校舎1)、北陽小(校舎1)、神西小(校舎1)、灘分小(校舎1・2) 荒木小(校舎1・2)、荘原小(校舎1)、中部小(校舎1・2)								
		体育館		※ 荒木小、荘原小									
	中学校	校舎		※ 浜山中(校舎1・2)、湖陵中									
		体育館		斐川東中 ※ 浜山中									
エアコン整備	特別教室 エアコン整備	小学校								10校	10校	9校	
		中学校	6校										
	体育館 エアコン整備	小学校		四絡小	北陽小	令和15年度までの設置について検討							
		中学校											
	遊戯室 エアコン整備	幼稚園	8園	4園	5園	4園							
	既設エアコン更新	小学校	3校	15校				R12までに対象校を選定して実施					
中学校		2校	5校				R12までに対象校を選定して実施						
バリアフリー	トイレ・スロープ改修		遙堀幼	大社幼	以降、避難所指定ではない校舎や園舎は、支援を必要とする児童・生徒・園児が在籍する際に整備								
	エレベーター設置		斐川西中	浜山中	以降、支援を必要とする児童・生徒・園児が在籍する際に整備								
照明LED化	照明LED化	小中学校		公共施設照明LED化事業により整備									
		幼稚園	4園	2園	8園	8園							
教室不足 対策	西野小学校舎増築		建築 2年目	各学校の児童生徒数の推移を把握し、教室不足が見込まれる場合は増築や改修を実施									
	大津小学校舎改修		改修										
義務教育 学校整備	佐田中学校（義務教育 学校）校舎増築				建築								

※期間内に計画的に実施予定。なお、学校名の記載順は整備順ではなく、実施にあたってはそれぞれの建物の状態により行う。

5 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 劣化状況の把握

本計画を継続的に運用していくためには、学校施設の状況を把握することが重要です。日常的・定期的に施設の点検等を実施して適切な維持管理に努め、建物の劣化状況をより早期に発見することで、改修計画への反映や突発的な事故・故障の発生を未然に防ぐことに繋がります。

(2) 推進体制等の整備

本計画を推進するにあたり、施設を所管する教育委員会教育部教育施設課が中心となりマネジメントを行っていきます。また、全庁的な協議を必要とする場合は、出雲市公共施設等総合管理計画に基づく体制で対応します。

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の劣化状況等を踏まえ、改修や改築等の実施計画を定めるものです。実施にあたっては、財政状況や事業進捗状況、社会情勢の変化や施設の劣化状況等により適宜見直しを図ります。